



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門管掌 兼COO (氏名) 井内 克之 (TEL) (052)933-6519
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日 配当支払開始予定日 2019年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	84,197	8.9	8,501	39.9	8,750	34.5	5,499	37.6
2019年3月期第2四半期	77,334	10.3	6,074	11.4	6,507	1.7	3,998	5.6

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 5,171百万円(68.1%) 2019年3月期第2四半期 3,077百万円(△21.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	51.38	47.32
2019年3月期第2四半期	37.40	34.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	412,420	134,725	31.5
2019年3月期	401,426	132,050	31.7

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 130,033百万円 2019年3月期 127,430百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
2020年3月期	—	23.00			
2020年3月期(予想)			—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭	
通期	171,400	△4.5	16,000	△15.2	16,000	△18.1	10,000	△19.1	93.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	108,520,799株	2019年3月期	108,520,799株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	1,465,650株	2019年3月期	1,493,010株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	107,040,449株	2019年3月期2Q	106,917,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(企業結合等関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第2四半期連結累計期間の概況

※当第2四半期連結累計期間の「計画」については、2019年5月15日付の公表数値に基づいております。

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	77,334百万円	84,197百万円	85,800百万円	+8.9%	△1.9%
営業利益	6,074百万円	8,501百万円	8,000百万円	+39.9%	+6.3%
経常利益	6,507百万円	8,750百万円	8,000百万円	+34.5%	+9.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,998百万円	5,499百万円	5,000百万円	+37.6%	+10.0%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境や企業収益の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方で、通商問題が世界経済に与える影響が懸念されるなど先行き不透明な状況であります。

このような状況下、当社グループの当第2四半期連結累計期間の状況は、2019年3月に開業した「ラグーナベイクコート倶楽部」のホテル運営収益が業績貢献したほか、メディカル事業、シニアライフ事業が成長を続けていること、収益性の高い既存物件を中心にホテル会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は84,197百万円（前年同期比8.9%増）、営業利益は8,501百万円（前年同期比39.9%増）、経常利益は8,750百万円（前年同期比34.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,499百万円（前年同期比37.6%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	19,204百万円	22,164百万円	19,830百万円	+15.4%	+11.8%
セグメント利益	4,901百万円	8,147百万円	6,980百万円	+66.2%	+16.7%

会員権事業におきましては、前連結累計期間では新規ホテルの開業に伴う不動産収益の一括計上がありました。当連結累計期間には新規開業が無いというマイナス要因があった一方で、既存物件を中心にホテル会員権の販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	40,799百万円	42,167百万円	45,420百万円	+3.4%	△7.2%
セグメント利益	2,401百万円	1,478百万円	1,970百万円	△38.5%	△25.0%

ホテルレストラン等事業におきましては、2019年3月に開業した「ラグーナベイクコート倶楽部」のホテル運営収益が寄与しましたが、一般ホテル開業に向けた開業関連費用や、更なるIT・テクノロジー活用による創造性、生産性の向上、有休取得義務化を含めた休日数増加など多様な働き方の推進等の先行費用が増加したこと、施設修繕や減価償却費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	16,997百万円	19,532百万円	20,240百万円	+14.9%	△3.5%
セグメント利益	2,955百万円	3,040百万円	3,080百万円	+2.9%	△1.3%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営や、健診事業等が拡大したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (実績)	当第2四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	333百万円	332百万円	310百万円	△0.1%	+7.3%
セグメント利益	223百万円	255百万円	250百万円	+14.2%	+2.3%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発(株)において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、固定資産税、減価償却費等の費用が減少したことなどにより減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は412,420百万円(前連結会計年度比2.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が6,809百万円、販売用不動産が5,078百万円、それぞれ減少した一方で、営業貸付金が3,443百万円、リース資産が7,985百万円、土地が5,213百万円、建設仮勘定が2,832百万円、投資その他の資産のその他が3,251百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は277,694百万円(前連結会計年度比3.1%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未払金が15,519百万円減少した一方で、短期借入金が12,511百万円、前受金が4,160百万円、長期リース債務が8,284百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は134,725百万円(前連結会計年度比2.0%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が3,007百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は31.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月15日に公表した当期の業績予想に変更はありません。通期連結業績予想は以下のとおりです。

2020年3月期 通期連結業績予想数値(2019年4月1日~2020年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	179,542百万円	171,400百万円	△4.5%
営業利益	18,877百万円	16,000百万円	△15.2%
経常利益	19,528百万円	16,000百万円	△18.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	12,358百万円	10,000百万円	△19.1%

通期業績見通しについては、2019年3月に開業した「ラグーナベイクコート倶楽部」が通期稼働するほか、メディカル事業において、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員数の増加に伴う、会費収入の増加のほか、2019年8月に「トラストガーデン荻窪」が開業するなど、シニアレジデンスの運営施設拡大や、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業の拡大が見込まれる一方で、2019年9月に「ホテルトラスティップレミア日本橋浜町」、2019年10月に「ホテルトラスティップレミア熊本」がそれぞれ開業を迎えることに伴い、開業準備費用など先行投資を行うこと、さらには、前2018年度(2019年3月期)には、会員制ホテルの新規開業に伴い、繰延べられてきた不動産の販売収益が一括計上されましたが、当2019年度(2020年3月期)は、新規開業が無いことなどから、当社グループ全体として売上高 171,400百万円(前年同期比 4.5%減)、営業利益 16,000百万円(同 15.2%減)、経常利益 16,000百万円(同 18.1%減)、親会社に帰属する当期純利益 10,000百万円(同 19.1%減)と減収減益を見込んでおります。

なお、配当金の予想については、年間配当金46円(予想)と、据え置き見込みであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	26,742	19,932
受取手形及び売掛金	8,891	10,554
営業貸付金	46,623	50,066
有価証券	4,647	3,564
商品	1,082	1,109
販売用不動産	30,049	24,971
原材料及び貯蔵品	1,429	1,017
仕掛販売用不動産	11,845	12,097
その他	5,380	6,334
貸倒引当金	△937	△1,004
流動資産合計	135,754	128,644
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	101,777	101,913
機械装置及び運搬具（純額）	2,889	2,858
コース勘定	7,591	7,591
土地	38,649	43,863
リース資産（純額）	6,227	14,212
建設仮勘定	17,920	20,752
その他（純額）	4,945	4,567
有形固定資産合計	180,001	195,759
無形固定資産		
のれん	3,637	3,392
ソフトウェア	4,534	5,321
その他	3,634	2,576
無形固定資産合計	11,806	11,290
投資その他の資産		
投資有価証券	43,599	43,534
関係会社株式	1,313	1,320
長期貸付金	6,120	6,000
退職給付に係る資産	725	650
繰延税金資産	8,234	7,971
その他	14,624	17,876
貸倒引当金	△755	△628
投資その他の資産合計	73,862	76,725
固定資産合計	265,671	283,775
資産合計	401,426	412,420

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,471	1,425
短期借入金	5,000	17,511
1年内返済予定の長期借入金	1,839	1,789
1年内償還予定の社債	250	200
リース債務	875	1,187
未払金	22,389	6,869
未払法人税等	3,608	3,094
未払消費税等	997	1,113
前受金	12,209	16,369
前受収益	14,327	13,789
債務保証損失引当金	63	61
その他	7,731	8,484
流動負債合計	70,764	71,896
固定負債		
社債	450	375
新株予約権付社債	29,813	29,792
長期借入金	39,123	38,229
リース債務	5,806	14,091
繰延税金負債	638	684
役員退職慰労引当金	2,133	2,065
株式給付引当金	1,697	1,790
退職給付に係る負債	1,959	2,111
長期預り保証金	32,757	32,331
償却型長期預り保証金	68,838	66,866
その他	15,392	17,458
固定負債合計	198,611	205,797
負債合計	269,375	277,694
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	22,192	22,192
利益剰余金	86,144	89,151
自己株式	△1,852	△1,809
株主資本合計	126,074	129,124
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	821	822
為替換算調整勘定	858	362
退職給付に係る調整累計額	△323	△276
その他の包括利益累計額合計	1,355	908
新株予約権	292	313
非支配株主持分	4,326	4,378
純資産合計	132,050	134,725
負債純資産合計	401,426	412,420

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	77,334	84,197
売上原価	13,022	13,893
売上総利益	64,312	70,303
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	22,244	23,613
役員退職慰労引当金繰入額	170	63
修繕維持費	1,721	2,092
貸倒引当金繰入額	62	74
水道光熱費	2,808	3,019
減価償却費	4,120	4,733
その他	27,109	28,205
販売費及び一般管理費合計	58,237	61,802
営業利益	6,074	8,501
営業外収益		
受取利息	847	661
受取配当金	36	36
負ののれん償却額	60	—
持分法による投資利益	5	7
為替差益	19	—
貸倒引当金戻入額	66	131
債務保証損失引当金戻入額	—	1
その他	146	133
営業外収益合計	1,181	972
営業外費用		
支払利息及び社債利息	351	280
債務保証損失引当金繰入額	52	—
前受金保証料	23	12
控除対象外消費税等	259	255
為替差損	—	114
その他	60	59
営業外費用合計	747	722
経常利益	6,507	8,750

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	144	—
投資有価証券売却益	504	2
関係会社株式売却益	4	—
その他	9	—
特別利益合計	663	2
特別損失		
固定資産除却損	20	5
減損損失	104	—
投資有価証券売却損	495	—
役員退職慰労金	40	30
その他	23	0
特別損失合計	684	36
税金等調整前四半期純利益	6,487	8,717
法人税、住民税及び事業税	2,139	2,811
法人税等調整額	204	287
法人税等合計	2,343	3,098
四半期純利益	4,143	5,618
非支配株主に帰属する四半期純利益	144	118
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,998	5,499

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	4,143	5,618
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	215	1
為替換算調整勘定	△1,278	△495
退職給付に係る調整額	△2	47
その他の包括利益合計	△1,065	△446
四半期包括利益	3,077	5,171
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,931	5,052
非支配株主に係る四半期包括利益	145	119

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,487	8,717
減価償却費	4,678	5,278
減損損失	104	—
のれん及び負ののれん償却額	240	292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△59
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	120	261
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△35	△67
受取利息及び受取配当金	△883	△698
支払利息及び社債利息	351	280
為替差損益 (△は益)	△16	325
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,981	△4,816
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△63	4,401
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10	△39
未払金の増減額 (△は減少)	△6,968	△11,875
前受金の増減額 (△は減少)	1,867	4,179
長期預り保証金の増減額 (△は減少)	△2,290	△2,397
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△801	170
その他	△2,401	△2,374
小計	△1,607	1,576
利息及び配当金の受取額	1,032	699
利息の支払額	△373	△262
法人税等の支払額	△4,183	△3,315
営業活動によるキャッシュ・フロー	△5,132	△1,302
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,020	△10
定期預金の払戻による収入	77	3,010
有価証券の売却及び償還による収入	2,890	1,076
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却及び償還による収入	20,173	59
関係会社株式の取得による支出	△4	—
関係会社株式の売却による収入	14	—
有形及び無形固定資産の取得による支出	△10,221	△9,229
貸付けによる支出	△530	△18
貸付金の回収による収入	91	83
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△6,876
その他	△279	△878
投資活動によるキャッシュ・フロー	9,191	△12,785

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	4,954	12,452
長期借入れによる収入	5,771	—
長期借入金の返済による支出	△16,377	△944
社債の償還による支出	△2,625	△125
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	207	—
配当金の支払額	△2,492	△2,492
非支配株主への配当金の支払額	—	△75
その他	1,531	1,496
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,030	10,311
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△4,969	△3,776
現金及び現金同等物の期首残高	32,469	23,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,500	20,118

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	19,204	40,799	16,997	77,001	333	77,334
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	1,172	59	1,241	382	1,624
計	19,213	41,972	17,057	78,243	715	78,958
セグメント利益	4,901	2,401	2,955	10,258	223	10,482

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,258
「その他」の区分の利益	223
全社費用(注)	△4,408
四半期連結損益計算書の営業利益	6,074

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設の閉鎖等に伴い、第2四半期連結累計期間に104百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン(株)が、介護付有料老人ホーム「らいふアシスト馬車道」を吸収分割により承継したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、第2四半期連結累計期間においては110百万円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,164	42,167	19,532	83,864	332	84,197
セグメント間の内部売上 高又は振替高	20	1,046	162	1,229	767	1,997
計	22,184	43,214	19,694	85,093	1,100	86,194
セグメント利益	8,147	1,478	3,040	12,665	255	12,921

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	12,665
「その他」の区分の利益	255
全社費用 (注)	△4,420
四半期連結損益計算書の営業利益	8,501

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン(株)が、(株)シニアライフカンパニーの株式を取得し、子会社化したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては47百万円であります。

(企業結合等関係)

取得による企業結合

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 (株)シニアライフカンパニー

事業の内容 有料老人ホームの経営、居宅介護支援事業所の運営

②企業結合を行った主な理由

(株)シニアライフカンパニーは、東京都内と福岡市内に合わせて5施設の有料老人ホームを運営しております。

施設のサービス水準は高く、質の高いサービスや居住空間を求める顧客層の需要に応えるためであります。

③企業結合日

2019年9月2日

④企業結合の法的形式

現金を対価とした株式取得

⑤結合後企業の名称

(株)シニアライフカンパニー

⑥取得した議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の子会社であるトラストガーデン(株)が、現金を対価として株式を取得するためであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間
2019年9月2日から2019年9月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	7,000百万円
取得原価		7,000百万円

(4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ① 発生したのれん
47百万円
- ② 発生原因
取得原価が企業結合時における時価純資産を上回ったため、その超過額をのれんとして計上しております。
- ③ 償却の方法及び償却期間
5年間にわたる均等償却

(5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	499百万円
固定資産	8,957百万円
資産合計	9,456百万円
流動負債	1,114百万円
固定負債	1,389百万円
負債合計	2,504百万円